

月刊

ボラナビ

2010 年

3 No.139
月号

無料

ご自由にお持ち帰りください

今月の表紙イラスト

札幌在住のイラストレーターの
コグさんにご提供いただきました。

表紙のイラスト
募集中

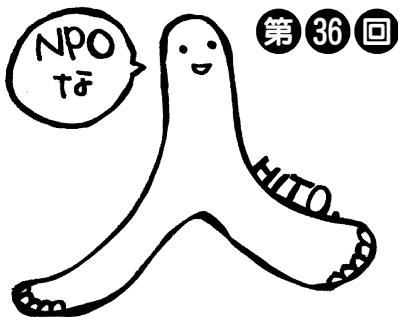
N P O な 人

セルフヘルプの輪

北海道ブックシェアリング
代表 荒井宏明さん
札幌生と死を考える会
会長 稲川良道さん



北海道の NPO 法人認証数
1,563 法人
(2009 年 12 月末現在)



.....

NPO 活動をしている人をどのくらいご存じですか？
どんな人が、どのような経緯で始めたり、関わるようになったのでしょうか。
北海道の多くの市民活動家の中から、まさに「NPO な人」として紹介したい方に、これまでのエピソードを教えてくださいました。

.....

北海道新聞社会福祉振興基金助成



著 者 北海道ブックシェアリング代表
荒井 宏明（あらい ひろあき）

1963 年北見市生まれ。新聞記者を経て、2004 年に編集・デザイン事務所札幌グラフィックコミュニケーションズ設立。路地裏探訪マガジン「季刊・札幌人」発行人。北海道の読書環境を元気にしようと、2008 年 1 月に北海道ブックシェアリングを立ち上げた。

本とともに歩く

つかまり立ちの頃から、絵本さえあれば手のかからない子だったらしい。小学校低学年では度を越して、ご飯もろくに食わず本ばかり読んでいるようなありさまで、「神経科に連れて行くか真顔で話し合つた」と後に両親から教えられた。

「三つ子の魂百まで」ということわざがあるが、極端なところはその後も変わらず、大学受験のセンター試験では国語が 200 点満点中 195 点、一方で数学は 200 点満点中 64 点と、非常にアンバランス。国語と英語以外はみな平均以下だった。いま流行の「できの良い 1～2 科目で入学 OK」という時代だったら学校の選びようもあるが、当時は 1000 点満点（7 科目）。とりあえず、「実家（北見市）から一番近い国立」という両親の案に従って旭川教育大へ。しかし教師になる自信はなく、3 年半ばで中退し、三省堂書店旭川店の店員になる。本に囲まれ、読書三昧。朝起きたら本を読んで、夜寝る前に本を読んで、仕事場で本を読んで、読書に飽きたら本を読む、という規則正しい生活。

一方で音楽に目覚め、バンドを組んでみると、数社からプロの誘い。ソニーの部長は「聖飢魔 II の弟分バンドで売り出す」と言う。しかし、こっちはパンクバンドをやっているのだから、デーモン閣下の弟にはなれないとお断りを入れ、しばし落ち込み、書店の休みをもらって、数ヶ月ロンドンで暮らす。昼間は書店やマーケットをふらつき、夜はパブカライブハウスか劇場へ。大英帝国の熱にうかされたか、旭川に帰ってから書店員の職を辞し、ロンドンファッションのブティックを開き、ライブハウスをオープンし、全国組織の市民団体「リサイクル運動市民の会」の旭川支部長に就任し…と、この先もなんだかバランスの悪い経歴が続くのだが、本とは直接関わらないので割愛。

やがて子どもが生まれ、札幌で新聞記者になった頃から、再び「本・活字」体質へ。現在は編集・デザイン事務所を経営し、路地裏探訪マガジン「季刊・札幌人」の発行人となり、北海道子ども読書推進会議の副会長を仰せつかり、北海道ブックシェアリング代表に就き、年に 140～150 冊の本を読んでいる。「三つ子の魂」の飛行ルートに戻ってきたというわけだ。

北海道ブックシェアリングを始める

さて、私が行なっている市民活動だが、最初に思い描いていたのは「知人から本をもらって自宅に保管し、日曜になったらリュックにつめて、誰でも提供と持ち出し可能な街角の図書コーナーに置いてくる」という地味なボランティアだった。ところが2008年1月のスタート直後から、「本があるから引き取ってほしい」「本が足りないから分けてほしい」「興味があるから活動に参加したい」と連日電話が入り、寄せられた本はあっという間に2万冊を超えた。家じゅう本だらけ。「なに、これ」という家族の冷ややかな目に耐えつつ、調べてみると、北海道の教育、保育、福祉などの図書施設では、予算不足で図書の購入や更新がストップしているケースが実に多い。不況のしわよせが「本」に来ているのだ。

札幌市市民活動サポートセンターの事務ブースを借り、ボランティアを募り、教育分野や図書館と連携を進めた。札幌市教育委員会から業務提携の申し出を受け、同年10月に、図書の受け入れと提供を行う「札幌市図書再活用ネットワークセンター」を開設。これまでに約1万3千冊を無償提供してきた。提供先は、小中学校、保育園、幼稚園、病院、高齢者施設、子育てグループなどで、大学図書館や文学館、博物館などにも文献や資料を橋渡ししている。

図書を寄贈してくださるのは札幌市内の方がほとんどで、ダンボールで3箱以上ある場合は、車で集荷に伺っている。ある夏のことだった。「絵本がいっぱいあるので取りに来てもらえますか」と女性の声で電話があった。行ってみると、素敵な絵本ばかりで、みな真新しい。「大切に読まれたんですね」というと「いいえ、まだ読んでいないんです。子どもが生まれたとき、2歳ぐらいになったら一緒に読もうと思って、毎月ずっと買いためていたんですよ」という。ダンボールには鮮やかな色使いの絵本の背がきれいに並んでいた。「1歳ちょっとで病気で亡くなったんです。そういう本だから捨てたり売ったりできなくて、ずっと手元に置いていたんですが、そろそろなんとかしなきゃ、と。新聞でブックシェアリングの記事を見て、こういう活動で使われるならすごくいいなと思って電話したんです」。運び終えて、丁寧に礼を言って、運転席に戻った。エンジンをかけ、そして切る。視界のにじみが消えるのを待つ必要があった。

またある時は、アパートの大家という女性から電話があった。「小さなお子さんのいる家族には、入居祝いに新品の絵本セットをプレゼントしていただんです。以前はすごく喜ばれてね。でも最近は、ご両親もお子さんも『ふーん』という感じで、私も気持ちが萎えちゃって。まとめて買っておいだ絵本がかなりあるんですが、もらってくれますか」。案内された部屋には、昔から変わらぬ人気を持つ名作絵本が10タイトル、それぞれ十数冊ずつあった。運びながら、「僕が入居者だったら、娘ともども『なんて素敵な大家さんだ』と感動したはずですよ」と告げると、大家さんは階段の上でにつこり笑った。



中学校の体育館で図書の仕分け作業

ボランティア募集中

集めた本のフリーニングや整理をしてくださる方はご連絡ください。

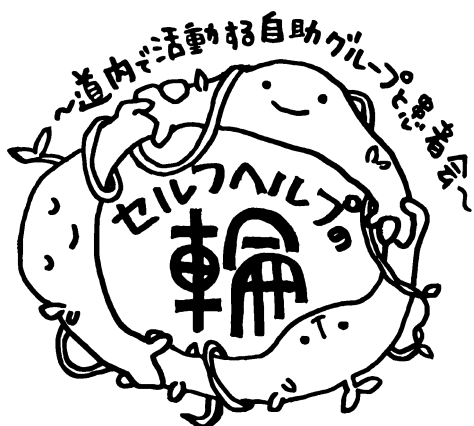
北海道ブックシェアリング

Eメール hk_bookshare@yahoo.co.jp

携帯：090-3468-6888（荒井） FAX：011-887-6466

札幌市北区北8条西3丁目札幌エルプラザ2階 市民活動サポートセンターNo.5

ホームページ <http://bookshare.web.fc2.com/>



さまざまな悩みを抱えた人たちが自発的に立ち上げた「自助グループ」が各地に広がりつつある。立ち上げた経緯や活動はさまざま。体験を共有し、自らを見つめる。心に寄り添う活動を紹介する。

札幌市さぼ一とほっと基金助成

札幌生と死を考える会

会 長 稲川良道(いながわよしみち)さん



第 6 回

死を見つめることで、 生を考える

多くの人が、家族や友人、恋人など、大切な人を亡くす経験をする。その悲しみがあまりにつらくても、そのつらさがなかなか癒えなくても、気持ちを分かち合える相手はなかなか見つけれられないかもしれない。

「札幌生と死を考える会(生と死)」が1996年から開催している「死別の悲しみをわかち合う会(わかち合いの会)」には、そんなつらい思いをしている人たちが訪れる。「生と死」のメンバーがグリーフ(grief=死別などによる深い悲しみ)スタッフとして立ち会い、秘密は厳守されるという安心感の中、同じ立場の参加者が自由に話し合い、抑えていた気持ちを吐き出し、悲しみを受け止めあう。

「生と死」会長の稲川良道さん(63)は、参加者が悲しみを乗り越えるための通過点としてこの場が役立つことを願い、悲嘆にくれる人たちに寄り添っている。稲川さん自身は、「人の命には限りがある」という事実子ども頃から悩み、恐怖を抱えてきたという。それは、夜中にうなされて目覚めることが成人後も続き、大手建設会社に就職し、結婚、子どもが誕生してからも、「死」が頭から離れる日はないというほど大きなものだった。40代の頃、まだ若い恩人二人を相次いで亡くして衝撃を受けたことと、二年間の東京転勤を機に、著書を通して関心をもっていた上智大学教授(当時)でドイツ人のアルフォンス・デーケン氏(東京)を訪ねた。デーケン氏は、1982年から「死生学・死の準備教育」を提唱し、一般市民を対象に「生と死を考えるセミナー」を主宰していた。日本では日常で死を語ることを「縁起が悪い」とタブー視しているが、デーケン氏は「死を見つめることは、自分に与えられた命を最後までどう大切に生きるか、愛する人を失った悲しみから、いかに立ち直るかなど、自分の生き方を絶えず問い直し、行動していくこと」と啓蒙。多くの市民に支持され、全国に「生と死を考える会」が生まれた。稲川さんは勤務のかたわら、デーケン氏の活動を手伝い、思想に影響を受けたという。稲川さんが札幌に戻った96年に、デーケン氏の理念に賛同した人たちによって「札幌生と死」が誕生し、稲川さんは事務局長(2001年からは会長)として活動を支えてきた。

「わかち合いの会」に訪れる人の中には、身近な人を不慮の事故や病で亡くしたり、子どもに先立たれた人もいる。稲川さんは、「身近な人の死は、遺された(のこされた)人に何かしらのメッセージを伝えていると思う。私は生と死への畏敬と謙遜の気持ちを忘れずに、自身の死生観を育てていきたい」と話し、「私自身、死への恐怖はいまだになくならない」と笑う。

札幌生と死を考える会

札幌市北区北17条西3丁目2-28 N17レーベンビル601号室

TEL・FAX: 011-736-1838 (月・木 10:30~15:00) ホームページ <http://www.geocities.jp/sapseitoshi/index.html>

宗教、政治、職業、年齢にとらわれることなく、誰もが自由な立場で生と死について考え、学び、行動できる会。年会費3,000円で各催しの割引や案内(会報誌)を受けられるが、非会員も参加できる。わかち合いの会は、毎月第1日曜日14:00~16:00(男性対象)、第3火曜日18:30~20:30(男女問わず)、第4日曜日14:00~16:00(女性対象)に、当会事務所で開催(無料)。死別の悲しみを電話で傾聴する活動(月・木曜日11:00~15:00)や、生と死の学びを深める特別講演会(年1回)・定例会(年4回)も開催している。

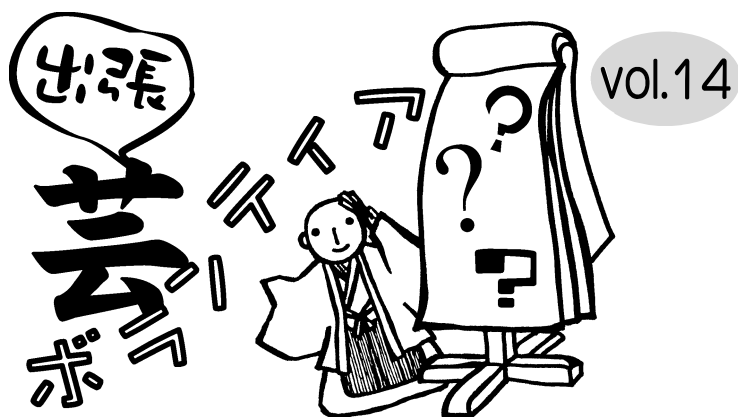
3月の定例会

「愛する人を喪って(うしなって)」~参加者の死別体験談から生を考える

●日時/3月13日(土)14:00~16:00

●場所/札幌市教育文化会館集会室(札幌市中央区北1条西13丁目)

●参加費/会員500円、非会員1,000円



施設や人が多く集まる場所に出張し、芸を披露してくれる方をご紹介します。

芸を依頼したい方は、日時や謝礼、交通費などに関し掲載先に直接ご相談ください。

また、掲載を希望する芸をお持ちの方はぜひボラナビにご連絡ください。

ホームページでは、32組を紹介しています(2010年2月現在)。

出張芸ボランティア

検索

新芸能集団「乱拍子」 和太鼓、獅子舞、わらべうた他



団体紹介

「演じるは家族、観る者、聴く者みんな家族。一緒に手をつなごう」を基本に、村場辰彦・容子の二人で始めた村場流八丈太鼓に、家族や小中学生たちも加わった15人からなる表現集団です(2009年現在)。日本の伝統を汲みながら、北海道で新しい太鼓の響きを出そうと、太鼓を核にした数々の芸に挑戦しています。大人は本音で若者にぶつかり、若者はそれをしっかり受け止め、子どもはその様子を観て育つ。成長が楽しいな集団です。

- 連絡先/Eメール murabake@yahoo.co.jp TEL・FAX: 011-855-2029
- 出張地域/どこでも。
- 出張日時/都合があればいつでも。
- 謝礼などについて/獅子舞の門付けは今年4月までお心づけでOKです。太鼓などの演目は最低限の謝礼(30分3万円)をしていただいていますので、ご相談ください。日帰りできるところであれば、打ち合わせはなるべくお会いして行います。駐車場、控え室、音響などを事前に確認します。

北海道大学落語研究会 落語



団体紹介

1966年頃に発足。2、3ヶ月おきに学内で寄席を開くほか、月に2〜5件ほどデイケアセンターやイベントなどに呼ばれて披露しています。口コミ効果なのか、依頼は増加中です。ホテルと提携した落語会を開催したり、新聞取材を受けるなど、活動の幅も広がっています。一人でも多くの方に落語を楽しんでいただきたいと思います。プロとは違う「学生落語」をぜひお楽しみください。※営利目的のご依頼は固くお断りします。

- 連絡先/Eメール hokudai_ochiken@hotmail.com 携帯: 080-4041-6375 (落語研究会)
- 出張地域/札幌市内近郊。それ以外の地域も要相談。
- 出張日時/学業があるので、平日よりは土日祝日の方が応じやすいが、平日でも可能な場合あり。
- 謝礼などについて/貧乏学生たちなので、北大(札幌)からの往復交通費×人数分は必ずご用意願います。その他謝礼金に関しては、こちらから請求するかたちはとっておりません。依頼主様におまかせします。

さぽーとほっと基金

～寄付で応援！まちづくり～

さぽーとほっと基金とは？

市民や事業者の皆様からの寄付により、福祉や子育て、青少年育成など、市民の方々による公益的なまちづくり活動を支援する札幌市の基金です。

今年度は、以下の事業を含め 58 の事業に助成を行っています

そうえん地域 ふれあいネットワーク

上記団体は、(株)太陽グループ、(株)田中組、(株)石山組、勇建設(株)からの指定寄付に基づく助成により、JR桑園駅前をイルミネーションで飾りつけ、安全・安心なまちづくりを実践するとともに、地域の方々が集い、演奏会を行うなど、連帯感を高めるイベントを実施しました。



▲ JR桑園駅前のイルミネーション

特定非営利活動法人 太陽グループボランティアチーム

上記団体は、「平成21年度札幌芸術賞」を受賞した大平まゆみさん(札幌交響楽団コンサートマスター・バイオリニスト)からの指定寄付に基づく助成により、市内2ヶ所の児童養護施設の子どもたちに、楽しいクリスマスを迎えてもらうために、クラシックコンサートを鑑賞するなどのイベントを実施しました。



▲ イベントの一場面

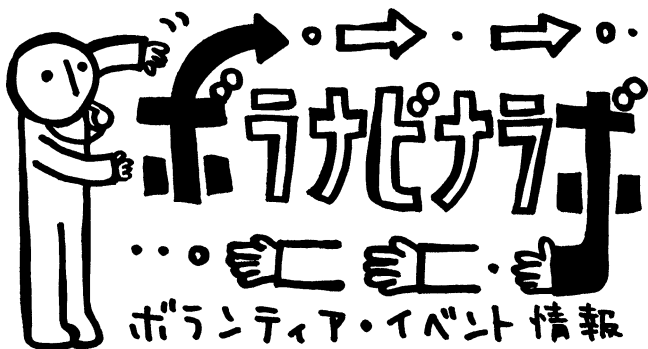
今年度は、138件、3,700万円を超える寄付をいただきました

100万円以上寄付していただいた方々(平成22年2月現在)

北海道労働金庫 様 株式会社特殊衣料 様 丸藤三共株式会社 様
東原俊郎 様 株式会社太陽グループ 様 岩田地崎建設株式会社 様
(寄付順に掲載)

今後も応援よろしくをお願いします。

【このページについてのお問合せ】札幌市市民活動促進担当課
〈TEL〉011-211-2964 〈Eメール〉shimin-support@city.sapporo.jp
〈ホームページ〉<http://www.city.sapporo.jp/shimin/support/kikin/>



情報をお待ちしています

ホームページの入稿フォームをご利用ください。

● ボラナビ <http://www.npohokkaido.jp/volunavi/>

※インターネット環境が無い方は、FAX や郵便でお送りください。

締切は毎月 25 日。次回は 3 月 25 日締切→5 月号掲載です。

掲載情報のご利用にあたり

- 情報の詳細は各団体にお問い合わせください。
- 活動で生じた問題につきましては、当事者間で解決を図られるようお願いいたします。また、万が一の事故やケガにそなえてボランティア保険への加入を推奨します。
- 思いやりをもって活動しましょう。

随時 車いすラグビーのボランティアと選手募集

ウィルチェアー（車いす）ラグビーチーム「北海道ビッグディッパーズ」の練習をサポートしてくれるボランティアを募集しています。具体的には、競技用車いすの搬入出、車いす乗り換えの介助、練習終了後の体育室の清掃、また練習そのものにも参加していただければと思っています。力仕事にみえるかもしれませんが、女性でも問題なくできますので、気軽に応募してください。ウィルチェアーラグビーは、四肢麻痺者等がチーム・スポーツをする機会を得るために、1977 年にカナダで考案されました。競技は、ラグビー、バスケットボール、バレーボール、アイスホッケー等の要素が組み合わされており、バスケットボール用のコートで行います。お手伝いいただける場合は、あらかじめご連絡ください。選手として興味を持たれた方の参加も歓迎します。



- 日時／3 月 16、30 日（火）18：00～21：00、13 日（土）14：00～21：00。
- 場所／リフレ札幌国際交流館 2 階体育室（札幌市白石区本通 16 丁目南 4-26）
- 交通機関／地下鉄東西線「南郷 18 丁目駅」より徒歩 5 分
- お問合せ／北海道ビッグディッパーズ〈担当：山田〉 E メール takahiro_yamada@hi-ho.ne.jp
FAX：011-853-8255 携帯：090-8705-6154 ホームページ http://www.geocities.jp/hokkaido_big_dippers/

第 1・3 土

視覚障がい者がするボウリングのボランティア

私たちは、視覚障がい者のボウリングクラブです。2004 年から障がいのある 18 人程が活動しています。私たちの活動をお手伝いしていただませんか。お願いしたいのは、ボウリングのボールの手渡しや、残ったピンの確認、スコア表の記入などです。どうぞよろしくお願いいたします。

- 日時／毎月第 1・3 土曜日 16：00～18：00 ぐらい。
- 場所／ゲオディノス（札幌市白石区南郷通 1 丁目）
- 交通機関／地下鉄東西線「白石駅」より徒歩 3 分
- お問合せ／フレンドリーアイ〈担当：清杉〉 E メール knight2000-a14@docomo.ne.jp 携帯：090-1523-5120

月

カラオケのお手伝い

デイサービスを運営しております。10～20 人で活動できるいくつかの部屋に分かれて毎日日替わりで様々な趣味活動を行っており、利用者の方が好きな活動を選んで参加できるシステムです。その中に「カラオケルーム」もあり、毎日、歌の好きな方々にぎわっています。その部屋で、利用者の方々の見守りと、曲の番号を機械に入力するなどのお手伝いをしていただける方を募集しております。ご連絡をよろしくお願い致します！

- 日時／毎週月曜日 12：30～14：00 ぐらい。
- 場所／札幌市豊平区平岸 2 条 2 丁目 1-1
- 交通機関／地下鉄南北線「平岸駅」より徒歩 10 分、または地下鉄東豊線「学園前駅」より徒歩 10 分
- お問合せ／愛全会グループ社会福祉法人高齢者総合福祉施設アビターレ〈担当：西崎〉
E メール abitare@aizenkai.or.jp TEL：011-821-7000 FAX：011-821-7023 携帯：090-8636-8190

随時

障がい者乗馬のボランティア募集

障がい者が馬と触れあい、乗馬を楽しみながら、身体機能を維持・回復させることを目的に、障がい者乗馬の普及活動をしています。活動を安全かつ効果的に行うには、インストラクター(騎乗レッスンや馬のケア全般など)やリーダー(馬を引く)のほか、障がいのある方の騎乗時のサポートや、騎乗中に馬の左右について障がいのある方への声かけ、馬の世話のお手伝いなどをしてくださるボランティアが必要です。いずれは馬や障がいについての理解と知識が必要になりますが、まずは私たちの活動に賛同してくださる方であれば経験は問いません。詳細はお問い合わせください。活動の前に面談させていただきますのでご了承ください。なお、インストラクターになるには、週3回以上で2、3年の研修期間と、障がい者乗馬資格修得試験に合格することが必要で、資格取得後はRDA障がい者乗馬協会認定インストラクターとして活動できます。インストラクターになることを目的としたボランティアも募集しています。障がい者の笑顔はきっとあなたをハッピーにしてくれますよ。

- 日時／水・木曜日 13:00～、土・日曜日 10:00～。終わる時間はご都合に任せます。
- 場所／札幌市中央区盤溪 255-5 乗馬セラピー倶楽部
- その他／自家用車で通える方を希望。インストラクター志望で週3回来られる方にのみ、交通費として1万円を限度に支給。ボランティアは、講習会や騎乗会への参加も含め無料です。
- お問合せ／北海道障がい者乗馬センター
Eメール h_thera@nifty.com TEL: 011-623-5285 携帯: 080-3789-8230

月～金

子どもと歩みたいボランティア募集!

私たちは2つの活動で、子どもたちと苦楽を分かち合おうと努力するボランティアを求めています。「スクール」は、何らかの理由で既存の学校に通っていない子どもたち(障がいのある子も含む)が在籍し、毎日学んでいます。「子ども館」では、付近の小学校に通っている子どもたちが集まって、遊びながら学び、学びながら遊んでいる場です。新年度は子どもが増えそうなので、ボランティアさんを増員したいと思っています。内容は、①子どもたちへの学習サポート。日本語、算数・数学、外国語、理科、社会、音楽、芸術などの学びを支えてください。②アウトドア系の企画・運営。③子どもの遊び・話し相手。④その他、子どもと直接は関わりませんが、車の運転、広報宣伝、パソコン・事務処理などでスキルを生かしたい方、掃除・洗濯・雪かき・宣伝物配布・整理整頓などの重要な裏方作業をいとわない方もお待ちしております。週1回でもOKです。学生さん歓迎です!

- 日時／月～金曜日、10:00～15:30がスクール、16:30～19:00が子ども館。詳細はお問い合わせください。
- 場所／札幌市豊平区月寒東1条15丁目5-11
- 交通機関／地下鉄東豊線「福住駅」より徒歩8分
- お問合せ／北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会〈担当: 吉野・齋藤・森本・鈴木〉
Eメール codmoka@agate.plala.or.jp TEL: 011-858-1711 FAX: 011-858-1333
ホームページ <http://www12.plala.or.jp/hokjioka/>

在宅生活のお手伝いを致します。

札幌市内にお住まいの高齢者の方を対象に、介護保険では使えないサービスを提供しております。

家事・外出・留守番・お手伝いなど
料金/1時間に付き700円+交通費500円

～ボランティア活動支援事業～
NPO法人日本理美容福祉協会札幌センター
生活支援部 電話 011-577-2740



6/
26・27

「フェアトレードフェスタ 2010 in さっぽろ」スタッフ募集!

フェアトレードとは、第三世界の生産者と、公正で継続的な取引を行う新しい貿易の仕組みです。私たちは、これをもっと多くの人々に広めたいと思う市民の集まりで、フェアトレード商品を中心としたマーケット&カフェ、フェアトレードについて楽しみながら理解を深めるワークショップやファッションショー、パネル展などを開催するフェスタを実施します。現在、スタッフを募集中です。全体または各催事の企画・運営や、会場設営・装飾に至るまで作業は様々です。当日だけ関われる方や後片付けをしてくださる方なども募集しています。フェアトレードを通じて、海外や、物を作っている人たちのことを考えてみませんか? 関心のある方はまずはお気軽にお問い合わせください。

- 日時/ご相談に応じます。
- 場所/フェスタ開催は大通公園1丁目(札幌市中央区大通1丁目)。準備活動は当事務所(札幌市北区北24条西6丁目2-2 Earth Cover内)などにて。
- お問合せ/フェアトレード北海道<担当:千徳> Eメール fairfes@gmail.com
TEL・FAX:011-707-5622 ホームページ <http://www36.atwiki.jp/fairfes2009/>

随時 障がいのある方の活動サポートボランティア募集

みずほ園は、重度の障がいのある方が主に利用されている作業所です。少人数のゆったりとした環境の中で活動しています。日中活動(創作、和紙作り、音楽など)や外出活動(車イスの移動助など)、昼食作りをお手伝いいただけませんか。少しでも興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。

- 日時/月~金曜日 10:30~15:30。
- 場所/みずほ園(札幌市東区北丘珠2条2丁目12-10)
- 交通機関/地下鉄東豊線「新道東駅」から<東76>「中沼小学校行き」バスで「丘珠高校」下車徒歩5分
- お問合せ/地域共同作業所みずほ園<担当:山崎> TEL:011-781-2102 FAX:011-781-2105

随時 趣味活動のお手伝いなどして下さる方募集

私たちの介護老人保健施設では、活動に協力していただけるボランティアを募集しています。性別や年齢は問いません。ボランティア活動が初めての方でも、ご心配ありません。ご連絡をお待ちしています。

- 内容と日時/1.利用者の趣味活動のお手伝い。カラオケ(毎週月曜日)、手芸(第1水曜日)、折り紙(第2水曜日)、貼り絵(第3水曜日)。すべて9:30~11:30。2.シーツ交換 木・金曜日9:15~10:30。3.利用者の入浴後のドライヤーがけ 月~金曜日9:30~12:00。
これらの詳しい内容は面談担当者から最初に、必要に応じて活動中も随時ご説明させていただきます。
- 場所/札幌市白石区本郷通3丁目南20-1
- 交通機関/地下鉄東西線「白石駅」<7番出口>より徒歩7分、または中央バス・市営バス「白石区役所前」停留所より徒歩2分。なお、JR「白石駅」からは徒歩10分
- その他/継続して活動していただいている方には活動費をお支払いしています。
- お問合せ/コミュニティホーム白石<担当:小野寺>
TEL:011-864-5321 FAX:011-864-9590 ホームページ <http://www.keijinkai.com/c-shiroishi/>



北海道のNPO・NGOの 相談業務承ります!

(財)北海道国際交流センター(HIF)は道南を中心にホームステイ、国際交流や地球環境、NPO・NGOサポートなどの活動をしている団体です。2009年度の外務省NGO相談員です。北海道全域の相談業務に対応するため、HIF札幌デスクを開設しています。よりきめ細かい相談や出張サービス(いずれも無料)を承ります。

詳しくは、札幌デスク NPO法人ボラナビ倶楽部 または
(財)北海道国際交流センター(HIF)までお問い合わせください。
TEL:0138-22-0770 FAX:0138-22-0660
Eメール info@hif.or.jp ホームページ <http://www.hif.or.jp>



随時

子どもと遊ぶボランティア募集!

私たちは、小学1年生～中学3年生までの子どもたちの放課後保育をおこなっています。子どもが好きで、子どもたちと元気に遊んでくださる方、子どもたちの送迎をお手伝いしてくださる方はいらっしゃいませんか? ご連絡をお待ちしています。

- 日時／平日は13:00～17:00、長期休みは8:00～17:00。
- 場所／オレンジクラブ(札幌市東区本町1条2丁目4-7)
- 交通機関／地下鉄東豊線「環状通東駅」から徒歩10分
- お問合せ／共同学童保育所オレンジクラブ〈担当:稲村〉 TEL・FAX:011-782-2421

**3/10
締**

障がい児・者とスキーを楽しむボランティアさん募集

小学生から25歳ぐらいまでの障がいがある方(知的障がい、自閉症、学習障がい、ダウン症など)を対象にした「春休みスキー合宿」をニセコで3回行ないます。そこで、参加者と一緒にスキーを楽しんでくれるボランティアさんを、参加者各回5人程度と同人数募集します。高校生以上で、子どもが好きで、スキーレベルは3級以上(とご自身で認識している方)であれば、ボランティア経験は不問です。責任をもって参加者のサポートをしてくださる方をお願いします。一緒にスキーを楽しみませんか。

- 日時／第1回3月26日(金)～28日(日)、第2回29日(月)～31日(水)、第3回4月2日(金)～4日(日)。※各回、2泊3日です。
- 場所／ニセコアンヌプリスキー場。宿泊は「ペンションがんば」(ニセコ町字ニセコ387-6)。集合は、地下鉄東西線「円山公園駅」上のバスターミナル。
- その他／万一の事故に備え、ボランティア保険(280円～)に加入してください。なお、ボランティアさんの宿泊費、食費、札幌～ニセコ間の送迎に費用はかかりません(当会負担)。申し込みは3月10日(水)までをお願いします。一人が複数回参加しても構いません。参加が決まった方には、詳しい案内を郵送します。
- お問合せ／NPO法人ニセコがんば会〈担当:伊藤〉 Eメール ganbatomo@wine.plala.or.jp
TEL:0136-58-2511 FAX:0136-58-2517 携帯:090-7515-1213

随時

一緒に猫の世話をしませんか

私たちは保護された猫をたくさん飼っている方のお宅で、猫の世話をお手伝いするボランティアをしています。内容は、ご飯をあげたり、部屋の掃除やトイレの取替えなどです。最近、スタッフが就職や引越で減ってしまいました。週に1度でも10日に1度でも、時間の空いている時で結構です。猫好きでご協力していただける方を募集します。

- 日時／9:00頃から2～3時間(都合の悪い方は昼からでもOKです!)
- 場所／札幌市白石区平和通
- お問合せ／猫といつまでも〈担当:三浦〉 TEL:011-846-0414
(午前中または20:00～22:00。留守電になった場合は連絡先を残していただければ、折り返しお電話します)。



～NPOのちよつとした疑問にお答えします。～

Q

NPO法人については、「総会主導型」と「理事会主導型」があると聞きました。どういうことが教えてください。

A

- NPO法人の定款には、特定非営利活動促進法に規定されている事項(＝法で決められている事項)以外の事項も多数記載することになります(例 理事の選任方法、会費納入義務等)。そして、これらは、総会の議決事項と定めても、理事会の議決事項と定めてもよいのです。すなわち、定款で、各種決定事項を総会の議決事項としている場合を総会主導型といい、理事会の議決事項としている場合を理事会主導型といいます。総会主導型にすると、社員の意思を強く反映させることができるというメリットがありますが、他方で、全てを総会決議事項にすると、機動的・効率的な運営が阻害されてしまいます。
- 下矢洋貴 弁護士(佐々木総合法律事務所 TEL:011-261-8455)

随時**除雪と運転ボランティア募集**

札幌市南区やその近郊にお住まいのご高齢者の自立生活をお手伝いしようと、買い物や通院時の送迎や除雪をするサービスを行っています。現在、助けが必要な方が多く、ボランティアの人数が足りなくなってきました。少しの時間で結構ですからお手伝いしてもらえませんか。運転ボランティアはご自身の車両を使用してもいいという方をお願いします。お気軽にお問い合わせください。

- 日時／空いている時間でかまいません。
- 場所／札幌市南区とその近郊
- お問合せ／ヘルパーステーションせせらぎ〈担当：小野寺〉 TEL：011-572-7810 FAX：011-572-7840

土・日・祝**子どもと自然の中で遊びませんか？**

自然体験や人との触れ合いを通じた教育を実践するために設立された NPO 法人です。幼児教育園やアウトドアスクールの運営、指導者の育成、自然・環境教育に関する行政や民間からの受託事業を主に行っており、小樽・余市・札幌地区を中心に活動しています。そこで、子ども自然学校「おたる・さっぽろアウトドアスクール」の活動に携わるボランティア（アシスタント）スタッフを募集します。大学生や専門学校生を含む 18 歳以上（50 歳くらいまで）で継続して参加していただける方をお願いします。子どもたちと一緒に自然体験活動に取り組み、発見や感動を通して、人と自然について共に考えましょう。



- 日時／2010 年 4 月～2011 年 3 月の土・日・祝日・長期休暇。
- 場所／札幌市内のほか、市外や道外（沖縄）でも活動します。集合や解散は、札幌市内や小樽築港駅などです。
- 説明会／3 月 3 日（水）19：30～20：30、ちえりあ 4 階研修室 1 にて。参加の場合、電話で事前連絡をお願いします。
- その他／謝礼として一日 3,500 円程度お支払します。実習期間があります。
- お問合せ／NPO 法人自然教育促進会 E メール outdoor@sokusinkai.com TEL：0134-51-5666 FAX：0134-51-5667 小樽市望洋台 2-14-1 ホームページ <http://www.sokusinkai.com>

4/18 まで**公演のお手伝いをしてくださる方募集**

主宰の槇文彦を中心に 2000 年 3 月に札幌で旗揚げした劇団「演劇集合体マキニウム」では、4 月 16 日（金）～18 日（日）に予定している演劇公演のお手伝いをしてくださる方を募集しています。公演前日までは、チラシの折込作業や衣裳収集、小道具収集・製作、舞台装置製作など、公演当日は受付や会場整理、ビデオ撮影などを手伝っていただきます。内容や時間はできる範囲で構いませんので、ご自分の得意なことをぜひ活かしてください。当日のみのお手伝い、または継続的な参加も大歓迎です！一緒にお芝居づくりを楽しみませんか？お待ちしております。

- 日時／月～日曜日 17：00～。
- 場所／公演はレッドベリースタジオ（札幌市西区八軒 2 条 1 丁目）。前日までの活動はマキニウム稽古場（札幌市東区北 25 条東 16 丁目 1-2 ステラ元町ビル 3 階（地下鉄東豊線「元町駅」〈1 番出口〉すぐ））
- お問合せ／演劇集合体マキニウム〈担当：金子〉
E メール makinium2000@yahoo.co.jp 携帯：090-9437-6624 ホームページ <http://makinium.web.fc2.com/>

登録ヘルパー募集中**興味のある方****ぜひお気軽にご応募ください♪**

- 資格／ホームヘルパー2級以上、未経験者大歓迎 35 歳以上
夜間は年齢不問
運転免許必須 南区在住の方（周辺の方も応相談）
- 勤務時間／応相談 昼間、深夜相談可
- 給与／時給 930 円（交通費 400 円。深夜手当などの諸手当有り）
- 勤務場所／南区とその周辺
- 応募方法／履歴書を当事業所まで郵送するか、下記までご連絡下さい。

NPO 法人せせらぎ ヘルパーステーションせせらぎ

〒005-0804 札幌市南区川治 4 条 3 丁目 4-9 フラワーハイム 102 号
TEL：(011)572-7810 FAX：(011)572-7840

急募**ハンド・フットケア教室****癒しとぬくもりのケア**

オイルを使って、温めた手で利用者の手足をさすり、なでてあげる優しい手技です。肌と肌が触れ合うことで心にも触れ、コミュニケーションを取りやすくなります。

※社会福祉施設に勤務する看護師を対象に講義経験有。
（平成 21 年度北海道社会福祉協議会主催）

日時／毎月第 2・第 4 土曜日 13：00～15：00（2 時間／回 5 回）
会場／札幌市中央区南 2 条西 6 丁目 狸小路プラザハウス 2 階
受講料／35,000 円（教材・修了証書代含む）

NPO 法人 日本ヒーリングケア協会・ヒーリングスクール札幌 代表：男沢（おざわ）千恵子
TEL：011-824-3848 FAX：011-824-3844
ホームページ <http://www.healing-care.jp>

3/26
~4/5

春休みに子どもと遊ぶボランティアさん大募集!

発達障がいなどで集団生活が苦手な子どもたちの体験の幅を広げる活動をボランティアさんと共に取り組んでいる NPO です。子どもたちには、一緒に遊んでくれる大人が必要です。「子どもの笑顔が見たい!」「子どもと遊ぶことが好き!」という方であれば、すぐ子どもと仲良くなれます。春休みには、動物園や青少年科学館の見学、スケート、人形劇鑑賞に行きます。一日だけの参加でも構いません。ぜひご連絡ください! 元気で明るい子どもたちが待っています!



- 日時/3月26日(金)~4月5日(月)で土日を除く。9:20~15:30。
- 場所/集合と解散はどろんこクラブ(札幌市北区北16条西4丁目2-2)
- 交通機関/地下鉄南北線「北18条駅」<2番出口>より南に向かって徒歩3分
- その他/昼食・飲み物はクラブで用意します。
- お問合せ/NPO 法人子どもサポートどろんこクラブ<担当:早坂>
Eメール doronko_club@ivy.ocn.ne.jp TEL:011-737-3352 FAX:011-398-8699
ホームページ <http://www.geocities.jp/doronko1904>

3月
末締

チャリティーコンサートのボランティア募集

市民ボランティア Peace (ピース) は、ウガンダ共和国(アフリカ)のエイズ孤児をはじめとする子どもたちの支援をしています。この度、チャリティーコンサート「GUARDIAN DEITY 9」を企画しましたので、当日の様々なお手伝い、特に簡単な会場設営をしてくださるボランティアさんを15人募集します。なお、収益金は、ウガンダのマクサ島のトイレ建設に使います。2009年12月に視察に行きましたが、100m四方もないこの島には500人が住んでいるのに、トイレが4基しかありませんでした。しかもドアが壊れていたりして、不衛生で、マラリアや感染症など多くの問題を抱えています。

- 日時/5月7日(金)13:00~21:00(コンサートは18:30~20:00)。
- 場所/札幌市教育文化会館小ホール(札幌市中央区北1条西13丁目)
- その他/応募申し込み期日は3月末日。コンサートまでに3回程度の打合せを札幌市内で予定。
コンサート当日の交通費とお弁当は支給。また、コンサート当日に観客として来てくださる方も大歓迎です。
前売入場料は一般3,000円、高校生以下の学生1,500円。
- お問合せ/市民ボランティア Peace 携帯:090-6440-4929(山岸)、090-1641-0392(植松)



~NPOのちょっとした疑問にお答えします。~

Q

勤務中の従業員が駐車違反をして罰金を支払いました。この場合、どのように会計処理したらいいのでしょうか?

A

もし、この罰金が業務遂行中に課せられたもので団体に負担することになった場合には、一般的には「租税公課」等の経費として会計処理します。ただ、法人税等を申告している団体であれば、罰金、科料、過料及び交通違反金等は法人税法上は、損金(経費)にはなりません(法人税を計算する際に利益に加算します)のでご注意下さい。もし、この罰金が業務遂行上のものではなく、従業員個人で負担することになった場合には、その従業員への給与や貸付金として会計処理します。

瀧谷和隆(瀧谷和隆税理士事務所 apitakiya@aol.com)

3/6(土)

▶シンポジウム「みんなで支える福祉・農業」

▶13:00~16:00 札幌市中央区北3西3-1-44 札幌富士ビル5階A

持続した農業発展のためには、様々な産業や職種を経験した人たちによる農業参入を促す必要があります。これまでの農業のイメージを変え、特に農業への関心の高い団塊世代、高齢者、障がい者の就農・就労意欲をくみ取り、農業を目指す新しい人材育成の方策を探ります。参加費 1,000 円。要予約。☎NPO 法人農業塾風のがっこう〈長谷川〉
Eメール info@kaze-school.com TEL・FAX: 011-388-4822 携帯: 090-4879-5988

3/17(水)

▶今、子どもの貧困を考える 〜ストップ! 貧困の再生産〜

▶18:30~20:30

さっぽろ自由学校「遊」(札幌市中央区南1西5 愛生館ビル2階)

日本の子どもの7人に1人が貧困状態にあるといわれています。子どもの問題は社会の未来に関わり、また子ども自身に責任はなく、社会の責任だという認識が広がりつつあります。15歳と17歳の息子さんと暮らす母子世帯のお母さんから話をうかがい、子どもの貧困とそこから派生する問題を知り、子どもの健やかな成長を保障する社会のあり方について考えます。☎さっぽろ自由学校「遊」〈細谷〉

Eメール syu@sapporoyu.org TEL: 011-252-6752 FAX: 011-252-6751 ホームページ <http://www.sapporoyu.org/>

3/17(水)

▶エコビレッジセミナー & 2010 体験塾説明会

▶18:30~20:30

北海道環境サポートセンター (札幌市中央区北4西4 伊藤加藤ビル4階)

ヨーロッパや日本のエコビレッジ事例を紹介しながら、2009年度体験塾の活動報告および2010年度会員の新規募集について説明会を行います。参加費 500 円。☎エコビレッジライフ体験塾〈坂本〉

Eメール junkasakamoto@gmail.com TEL: 011-640-8411 FAX: 011-640-8422

毎月第2土

▶おもちゃのばくりっこ

▶10:30~15:30 札幌エルプラザ2階交流広場 (札幌市北区北8西3)

子どもの成長と共に使わなくなったおもちゃを持ち寄り、気に入ったおもちゃを持ち帰ることができる場です。もの大切さや環境を考える機会になればと思います。提供するだけの方も歓迎です。ぬいぐるみは大小にかかわらず扱っておりません。開催時間中は出入り自由。おもちゃの修理もいたします。

☎社団法人札幌消費者協会 TEL: 011-728-8300 FAX: 011-728-8301

第2土・日

▶第4級アマチュア無線技士養成講習会

▶9:00~17:00

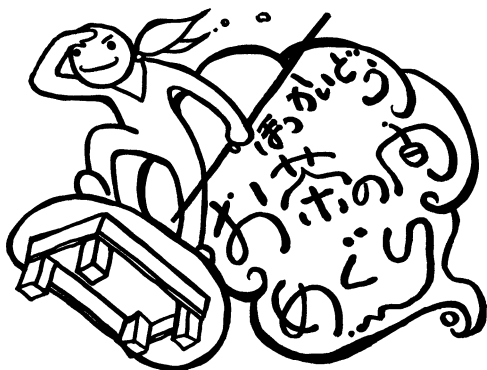
札幌市東区北17東17-3-12 札幌ラジオ会館

地下鉄東豊線「環状通東駅」〈2番出口〉徒歩5分

講習は2日間で10時間。講習後の修了試験に合格すると第4級アマチュア無線技士の国家資格を得られます。受講料は、19才未満が6,750円、19才以上が16,750円です。申し込みは講習会前日の17時までにお願ひします。本事業は北海道総合通信局の認定を受けており、私たちは全国初の民間団体として、一般より安い料金で昨年9月から実施しています。☎NPO 法人ラジオ少年〈原〉

Eメール ja8atg@jarl.com TEL: 011-827-2801 FAX: 011-827-2848 携帯: 090-6447-4255

ホームページ <http://www.radioboy.org>



誰でも気軽に立ち寄っておしゃべりができる「地域のお茶の間」は、集まった人たちとおしゃべりをしたり、ゲームや料理などをしながら、一緒に楽しい時間を過ごすことができるスペースです。

ホームページで札幌市内を中心に、300ヶ所を紹介中!

お茶の間めぐり

検索

このコーナーは、赤い羽根共同募金の支援を受けています。

Vol.30

障がい児・地域交流サロン「あそぶ会」

- 場 所** 拓北あいの里地区センター（札幌市北区あいの里1条6丁目1-1）など。
- 日 時** 月1回土曜日 10:00～12:00（4・8月を除く）
- 参加費** 100円（任意）
- 参加対象** 障がいの有無に関わらず、子どもでも大人でも。
- 主催・連絡先** くらしねっと TEL: 011-707-6212 FAX: 011-707-6213



あ そ ぶ

障がいのある子どもも含めた子どもたちの地域生活をより豊かなものにするため、福祉のまち推進センター、青少年育成委員会、あいの里アクティビティセンター、拓北養護学校、たすけあいワーカーズふたごの木が共同で、2002年に始めました。子どもたちを中心に様々な人が出会い、一緒に遊ぶ機会を地域の団体と連携・協力しながら作ることで、誰もが明るく暮らせるまちづくりに貢献し、心のバリアフリーを促し、暮らしや福祉の情報交換ができるようにしたいと考えています。

雰 囲 気

様々な遊びと一緒に楽しく体験できる場です。読み聞かせサークルや札幌国際大学ハンドベルクワイア、拓北養護学校おやじの会、大学生ボランティアなどの協力で、簡単な調理や昔の遊び、工作教室や囲碁コーナーなど毎回いろいろな遊びと学びの屋台が出る駄菓子屋楽校や収穫祭、芸術鑑賞会、もちつきやうどん作りなど、普段の生活では体験できないようなことも企画しています。子どもとその家族、障がいのある方と介助者、ボランティアやスタッフなど、毎回50人以上が参加しています。



**ボラナビカフェも
毎月開催しています。**



日 時 2010年3月13日(土)、4月10日(土)
どちらも10:00～11:30

場 所 ボラナビ事務所(中央区北5条6札幌ビル7階)

内 容 テーマを決めずに楽しく話し合う場です。

参加費 300円 **定 員** 10人

参加方法 1週間前までに要予約。TEL: 011-242-2042
volunavi@npohokkaido.jp
月寒あんぱん本舗 榎ぼんま様より茶菓子の提供があります。

1月の

事務局の1カ月を
振り返りつつご紹介



- 6(水)●ボラナビ倶楽部の仕事始め。例年、経費節減のため年賀状を出さない私たちですが、今年も数十枚いただきました。ありがとうございました。
- 8(金)●NPO 政策検討会(北海道 NPO サポートセンター主催)に参加。政府の NPO 政策についてサボセンの方が情報提供してくださり、出席していた議員秘書も交え、NPO の方々と意見交換をした。
- 9(土)●40~60 代を対象にしたボランティア入門講座(北海道社会福祉協議会主催)で森田が講師を務めた。様々なワークショップを体験しながら、ボランティアを考えるプログラムを実施した。
- 13(水)●ボラナビ倶楽部で使用する角 2 (A4 の紙を折らずに入れられるサイズ) の封筒 5 百枚に、差出人としてボラナビの住所などの印刷をした。今回からは、この封筒を受けた人が、封筒の一部を切り取

- ることで長 3 (定形郵便で送れるサイズ) 封筒として再利用できるデザインにした。
- 16(土)●先週に続き、森田が同じ生徒さんたちを前にワークショップを実施。「ボランティアに関する川柳を作ってくる」宿題を出していたが、全員きちんと提出してくれたので感激した。
- 19(火)●ボラナビのような雑誌を地元でも発行したい、という女性が山梨県から訪ねてきた。ボラナビのようなものに必要性を感じてくれる人がいるのはとても嬉しい。
- 20(水)●ボラナビ 2 月号が納品された。3 人のボラ(ボラナビ倶楽部のボランティア)さんが来て、梱包作業をしてくれた。
- 21(木)●昨日納品されたボラナビを市役所に配達した。青空だったが、車を出してくれたボラボラさんが、「さっきまでは吹雪いていた」と言うので、驚いた。
- 22(金)●新聞販売店に、新聞折込用のボラナビを搬送。この店舗に運ぶのは今月で 3 回目。そろそろ顔を覚えてもらえたかな?
- 29(金)●地域ポイント制度研究会(札幌市)に森田が参加。全国の地域通貨の事例紹介を聞き、メンバーと意見交換した。

ボラナビ倶楽部の会員になりませんか?

社会を変えたい人

一緒にボラナビを育ててみたい人

市民活動やボランティアに興味がある人

ボラナビに情報・広告を載せたい人

ボラナビ大好きな人

■年額 / 個人 5 千円、法人 1 万円。

■特典 / 月刊ボラナビが毎月自宅に送られてくる。ボラナビカフェに無料で参加できる(月 1 回)。法人会員は、有料広告枠を 1 割引で利用できるなど。ぜひお申し込みください。

■お申込み・詳細 / ホームページで検索

※会員期間は、来年度(2010 年 4 月~2011 年 3 月)です。なるべく、2010 年 3 月までにお申し込みください。今年度の会員もまだ募集しています(個人のみ 3 千円)。

NPO 法人ボラナビ倶楽部 ● volunavi@npohokkaido.jp ● TEL 011-242-2042

月刊ボラナビの配置先 (今月は札幌市手稲区・市外をご紹介) ボラナビは毎月 25 日に約 1,000ヶ所に配置しています。

- 手稲区/JR 手稲駅/こまそば鶴喜手稲前田店/びっくりドンキー(手稲前田店・手稲富丘店)/中和石油 F.W. 西宮の沢/北海道エネルギー(手稲富丘・チャレンジ下手稲通・手稲星置・チャレンジ手稲インター・手稲前田・下手稲通・セルフ手稲)/北海道銀行(手稲支店・星置支店)/札幌信用金庫手稲支店/曙図書館/手稲コミュニティセンター/手稲区社会福祉協議会/手稲区民センター/手稲区役所/地区センター(新発寒・星置)/まちづくりセンター(手稲・手稲鉄北・前田・新発寒・富丘西宮の沢・稲穂金山・星置)/手稲区体育館/手稲晴温プール/星置スケート場/札幌日産自動車手稲支店/日産サティオ稲穂営業所/Honda Cars 札幌(手稲前田店・手稲宮の沢店)/文芸堂メディア館宮の沢店/コープさっぽろ(手稲店・西発寒店・星置店)/スーパー JOY(稲穂店・前田店)/ラルズ宮の沢店/北雄ラッキーあけぼの店/ホクレンショップ(新発寒店・前田店)/ドコモショップ(手稲店・手稲前田店・新発寒店・星置店)/ニトリ宮の沢店
- 石狩市/ドコモショップ石狩店/喫茶 POLPO(ホルボ)/エルプラザ花川南店/コープさっぽろ石狩店/中和石油 F.W. 花川店/札幌信用金庫(石狩支店・石狩支店花川出張所)
- 江別市/JR 江別駅/札幌信用金庫(江別支店・野幌支店・大森支店・五丁目支店)/北海道労働金庫江別支店/北海道立図書館/野幌総合記念公園/江別市民活動センター・あい/Honda Cars 札幌中央江別店/スーパー JOY セリオ(のっぽろ店・大森店)/ホクレンショップ(元江別店・ゆめみ野店)/ボスファール江別店/マックスバリュ江別店/札幌学院大学江別 BBS/北海道浅井学園大学/酪農学園大学/ドコモショップ(江別店・江別野幌店)
- 北広島市/JR 北広島駅/中和石油 F.W. 輪厚店/札幌信用金庫北広島支店/コープさっぽろ(広島店・エルフィン店)/スーパー JOY セリオおおまがり店/マックスバリュ北広島店/ドコモショップ(北広島店・大曲店)
- 恵庭市/JR 恵庭駅/札幌信用金庫(恵庭支店・島松支店・恵み野支店)/えにわ市民プラザアイル/マックスバリュ恵庭店/ドコモショップ(恵庭店・恵み野店)
- 千歳市/JR 千歳駅/こまそば鶴喜千歳栄栄店/札幌信用金庫千歳支店/北海道労働金庫千歳支店/ホクレンショップ(祝梅店・東郊店)/ドコモショップ千歳店
- 小樽市・共和町・余市市/JR 小樽駅/北海道労働金庫小樽支店/Honda Cars 札幌南小樽店/紀伊国屋書店小樽店/北雄ラッキー朝里店/ホクレンショップ朝里店/マックスバリュ(小樽店・手宮店・共和店)/小樽商科大学/ドコモショップ(ウィングベイ小樽店・小樽駅前店・朝里店・余市店)

その他の配置先は、ボラナビホームページをご覧ください。

※配置に協力していただいている皆さま、ありがとうございます。札幌市内の小中学校と北海道内の社会福祉協議会に配付しています。

遊佐新聞販売株式会社様、有限会社北海道新聞中田専売所様のご協力で、札幌市の一部地域で北海道新聞に折り込み配布をしています。一部地域では、ポスティングをしています。

ボラナビ倶楽部を支援してくださった方々 (タチツ順)

NPO 法人チャリティ・プラットホーム様

株式会社土屋ホーム様

寺岡ファシリティーズ株式会社様

富永マサエ様

中道リース株式会社様

株式会社ニトリ様

匿名希望者様

北雄ラッキー株式会社様

北海道銀行様

北海道新聞社様

有限会社北海道新聞中田専売所様

北海道文化放送様

水本美樹様

森田雄二様

遊佐新聞販売株式会社様

株式会社ラルズ様

株式会社 HBA 様

株式会社 NTT ドコモ様

札幌大学様

札幌通運労働組合様

城宝和茂様

進藤芳彦様

寄付金について

月刊ボラナビの発行は、企業や個人の方々からの寄付金でまかなわれています。10,000 円以上の寄付金や、この欄への 10,500 円の寄付広告をいただいた際は、誌面でお名前をご紹介します。また、札幌市のさぽーとぽつと基金を利用してボラナビに寄付をすると、個人なら所得税及び住民税の寄付金税額控除、法人なら全額損金参入が可能です。☎札幌市市民まちづくり局 TEL: 011-211-2964 メール shimin-support@city.sapporo.jp

■情報掲載料金 (各 1 号につき)

種 類	サイズ (天地×左右)	料 金
企業・行政など広告A	50 mm×157 mm	63,000 円
企業・行政など広告B	50 mm× 76 mm	31,500 円
NPO・NGO の情報A	50 mm×157 mm	10,500 円
NPO・NGO の情報B	50 mm× 76 mm	5,250 円
NPO・NGO の情報C	定型	無 料
裏 表 紙	50 mm×157 mm	105,000 円
バナー広告	60 ピクセル×120 ピクセル	52,500 円 (1,400 円/日)

※基本的に前払いをお願いいたします。

※上記の料金は、ご自身で制作された場合のものです。ボラナビ倶楽部に制作を依頼される場合は、別途ご相談ください。(A=6,300 円、B=4,200 円、バナー広告=6,300 円)

※バナー広告の掲載団体・個人は協賛一覧でご紹介させていただきます。

※「NPO・NGO の情報C」は、誌面の都合により掲載できない、又は縮小する場合があります。

■定期購読のご案内

●各号 1 部 (6 ヶ月間)…………… 1,575 円

複数部を希望される場合は、ボラナビ倶楽部までお問い合わせください。

●お申込み方法 定期購読ご希望の方は、ボラナビ倶楽部までご連絡ください。

定期購読のお申し込みをされる場合 (特に企業でお申し込みの場合) は、寄付または寄付広告をご検討ください。詳細は上記の「寄付金について」をご覧ください。

ボラナビ倶楽部への
お振り込みは■ゆうちょ銀行 (郵便振替)
02700-1-5671■北洋銀行北 7 条支店
(普)3662056■北海道銀行札幌駅北口支店
(普)0816050■北海道労働金庫道庁支店
(普)3153060■札幌信用金庫本店
(普)4255071

●口座名: ボラナビ倶楽部

※北海道労働金庫の窓口でお振り込みの際は、支払い手数料はかかりません。

■クレジットカードによる支払いも可能です。詳細はボラナビのホームページでご確認ください。

■ボラナビモバイル



QR コード対応携帯のみ

北海道新聞をはじめとする、地域の新聞社が運営するショッピングサイト
「よんななクラブ」では、日本各地の逸品・特産品をお届けしています。



よんななクラブ

検索



株式会社47CLUB ■ <http://www.47club.jp/> ■ e-mail: customer@47club.jp